

# Living the Lotus

6  
2022

VOL. 201

## Buddhism in Everyday Life

開祖随感

### 体験した人の説得力

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

#### Living the Lotus 2022年6月号 (Vol.201)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international  
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 赤川恵一

編集チーフ: ジグジドホロル・ゲレルトヤー

校閲者: 小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

「庭野さんは、一つ教えられると翌日からもう実行されている。大したものだ」と、前天台座主の山田恵諦さす やまだ えたいげいか猊下におほめいただいたことがありました。これには、ちゃんとお手本があるのです。お手本はお釈迦さまです。法華経でお釈迦さまは「私は、教えを聞いたらすぐにそれを実行して、仏の悟りを得ることができました」と語っておられます。

青年部のリーダーから、「どうしたら自信を持って法を説けるようになるのでしょうか」と尋ねられたことがあります。そう難しく考えることはないと思うのです。そんなにたくさんのことを覚える必要はありません。一つ聞いたら一つ実際にやってみるのです。すると、一つのことがつかめます。自分が体験したことなら、自信を持って人に説けるはずですね。それを一つずつ増やしていけばいいわけです。自信がないのは、自分の体験がないからです。

たとえば「相手を変えたかったら、まず自分が変わる」と学んでも、実際に自分でやってみないことには、半信半疑です。仏教の教えは、実行してみて初めて「なるほど」と分かるのです。体験こそ説得力の源泉です。

(『開祖随感』10, P. 190-191)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

## 慈悲の心で——忍辱②

立正佼成会会長 庭野日鏡



### 最高の忍辱

「人の善悪(さが) 聞けばわが身を 咎めばや 人はわが身の 鏡なりけり」。良寛りょうかん 禅師ぜんじの歌です。人の言葉や態度を見て、自分はどうかと省かえりみる「人のふり見て 我がふり直せ」ということわざに似た印象ですが、この歌には、それに加えてもう少し深い意味あいがあるようです。

「自分に対する悪口やほめ言葉を耳にしたら、それに怒ったり、のぼせあがったりしないで、自己のありようをよくよくふり返ってみよう」と、良寛さんが自身にいい聞かせているのです。人がそのように自分を評するのには、自分にそう思わせる何かがあるのではないかと。

こうしたふり返りが、おのずと心の波立ちを静める忍辱にんにくの実践になることを、この歌は私たちに教えています。また、子どもから大人までたくさんの人に慕したわれた良寛さんですが、そのことをおもしろく思わない人もいたようです。

ある日のこと、つねづね良寛さんねたを妬ねたましく思っていた一人の僧どろが、泥だらけの酪酊めいてい状態で禅師を訪ねて来るや、自らの帯おびでいきなり良寛さんたを叩たたきはじめたそうです。しかし、良寛さんはただ打たれるにまかせ、難なんが去った夕刻には、雨がしきりに降るのを見て、ひとこと「あの僧は、雨具をもっていたらどうか」とつぶやいたそうです。

先月の本誌で、耐たえたり我慢がまんしたりするのではなく、ものごとや人を自然に受け入れる気持ちが起きるのが「忍辱」とお話ししました。受け入れて認めるということですが、それに加えてこの話からは、慈愛じあいもまた忍辱を実践するうえで大きな力となり、支えとなることがわかります。

開祖さまは、「教えを聞いて自他一体感が深まり、ものごとを客観視する習慣がついてくると、寛容の精神と、他人の立場に対する理解ができてくるために、怒る気持も、恨む心も起こりません。逆に、——ああ、かわいそうな人だ、なんとかしてあのまちがった心を直してあげたい——という慈悲の心が起こってくる」(『新釈法華三部経』一)といわれ、これを「最高の忍辱」と述べています。

## 心を少し教えに向けて

ところで、人生には苦しみや悲しみがともなうできごとをとおして、初めて大事なことに気づくことがあります。良寛さんには「忍是(れ)功德(の)本」という書もありますが、ここでいう功德とは、そうしたつらく悲しい体験によってわかること、気づくことの一つ一つではないかと思います。受け入れがたいこともしっかりと見据えて受け入れ、認めることで心の器が少しずつ広がって、より柔軟にものごとを受けとめられるようになる功德です。また、<sup>が</sup>私の強い私たちにとって、苦難は「自分の考えが狭かった」と気づかされ、生きながらにして生まれ変わる大きなチャンスでもあり、それも忍辱の大きな功德だと思っています。

とはいえ私たちは、仏さまのように穏やかな心で忍辱を実践することなどできないと諦めていないでしょうか。

ただ、良寛さんの事跡を見ると、過去にとらわれないとか、遊び一つにも無心でとりくむとか、人の助言を素直に聞くとか、「すべては自分」と受けとめて自己をふり返るなど、そのときその場でほんの少し心を仏の教えに向けるだけで、法華経で「如来の衣」と表現される「柔和忍辱の心」を身につけることができる気がします。忍辱を支える慈悲が大事ということも、自他一体という見方で、まごころをこめて人と接することを忘れなければいいのです。私たちには本来、<sup>ぶっしょう</sup>仏性が具わっているのですから。

最後にもう一首、良寛さんの歌をご紹介します。「我宿の草木にかくる蜘蛛の糸  
<sup>はら</sup>払わんとして かつは(すぐに)やめける」。忌み嫌うものでさえも、自他一体の心で拝む。その祈りとともにある平安を私は信じるのです。

(『校成』2022年6月号)



## 失意の果てに知った人の恩

古河教会  
菊地庸介

この体験説法は、『佼成』2022年3月号に掲載された「信仰体験 いのち新生」の内容を一部編集したものです。

体に異変を感じたのは、都内のIT企業でシステムエンジニアとして働き始めて六年目、二十五歳の春でした。朝、身支度をしていると、突然、吐き気をもよおし、体がだるくなり何もする気が起きないのです。二日間、会社を休みましたが回復の兆しがありません。病院に行くと、うつ病と診断され、会社から三か月の休職を命じられました。

当時、私は四人の部下を抱えるチームリーダーとして通信会社のプログラム開発を任されていました。長時間の残業に加え、現場では後輩を指導しなければならないのに残業代もつかず、自分より高学歴の後輩のほうが給料は高い。「俺は正しく評価されていない」。会社への不満がだいに私の心を蝕んで、酒の力を借りなければ眠れない状態が数年続いていました。そして、ついに精神の病に侵されてしまったのでした。

休職中、パチンコ店に入り浸りました。銀色の玉を目で追いかけていると気持ちがすっきりするからです。しかし深夜、アパートに一人っていると、病気で仕事ができない自分の弱さが情けなくて、衝動的にカッターで手首を傷つけることもありました。でも、だれかに相談しようとは思いませんでした。プライドの高さが邪魔をして、人に弱みを見られたくなかったからです。休職中も体調は戻らず、仕事への意欲も失せていった私は平成二十年七月、自主退職しました。

その後は、消費者金融からお金を借りてまで、パチンコにのめりこみました。そして、多額の借金を抱え、家賃も滞納するようになって初めて、実家の母(快衣・

72)に自分の状況を打ち明けたのです。母から「とにかく帰ってきなさい」と言われ、私は逃げるように茨城県境町の実家に戻りました。平成二十二年二月上旬のことでした。

実家は野菜農家を営み、両親と長兄(一人・45)家族との同居生活です。母が借金を肩代わりしてくれ、滞納した家賃を私が払うことで金銭問題は一応の解決を見たものの、「俺は病気だから仕方ない」との思いで、両親や兄夫婦に感謝の気持ちなど湧きませんでした。ファミリーレストランでのアルバイト以外、部屋にこもってインターネットのサイトを眺めるか、酒を飲んで寝ていました。

そのころは、不眠がひどくて十種類もの薬を服用していましたが、それも大量のビールで流しおよぶような自暴自棄な状態でした。そんなある朝、畑に向かう父(章雄・79)に「おまえは病人じゃない。気持ちの問題だから、少しは農作業を手伝って汗をかいてみろ」と厳しく叱



古河教会60周年記念式典で説法をする菊地さん

責されたのです。父の言葉に、自分は家族の「厄介者」だと意識するようになり、私はますます孤独感を強めていきました。

それから数年後、かかりつけ医がいる埼玉県越谷市で一人暮らしをはじめました。日雇いの仕事をしながら細々と暮らしていたところ、SNSでAさんという年上の男性と知り合いました。私と同じ病歴をもつAさんは、私の悩みに共感してくれます。久しぶりに心が安らぐ思いでした。しばらくして、Aさんから「広島県で有機肥料を製造する事業を興したので、ホームページ制作などに力を貸してほしい」と懇願されました。自分を必要としてくれることがうれしく、加えて「家族を見返したい」との思いもあって承諾。平成二十八年六月下旬、Aさんのもとに向かいました。

Aさんは不慣れな土地での生活をサポートしてくれましたが、うつ病の治療薬は副作用が強いから絶対に止めるようにと、何度も忠告してきました。しかし、実際に薬を絶つと、発汗や顔のけいれん、被害妄想などの症状が起き、今度は仕事ができなくなります。そうするとAさんから怒鳴られ、ときには暴力を振るわれることもありました。働きだして五か月後の十一月下旬、耐えられなくなった私は携帯電話の電源を切ると、あてもなく新幹線に飛び乗りました。行き着いた先は、大阪市内の簡易宿泊所でした。

「もう死ぬしかない……」。Aさんという頼みの綱が切れ、絶望感が胸に広がりました。「故郷に帰りたい」と思うこともありました。実家に連絡する勇気はなく、毎晩、数分だけ携帯電話の電源をオンにし、着信を待っているだけでした。

大阪に身を隠して一週間がたった十一月二十八日の晩、携帯電話の電源を入れたそのとき、着信音が

鳴りました。立正佼成会古河教会の萩原透公教会長さん(当時)です。お叱りを受けると察し、びくびくしながら電話に出ました。すると、教会長さんは「庸介、どうしている？ いまどこにいるんだい？」と穏やかな口調で問いかけてくださるではありませんか。それで心がほぐれた私は広島での一部始終を話し、「家族に合わせる顔がない」と帰る意思のないことを伝えました。それでも教会長さんは帰ってくるよう促し、「待っているよ」と返してくれます。それを聞いた途端、涙が溢れました。「帰ろう」と決めた瞬間でした。

三日後、私が古河教会の門をくぐると、教会長さんが迎えてくれました。隣には、顔をこわばらせた父と、いまにも泣き出しそうな母がいます。両親の姿を見てホッとした反面、穴があったら入りたい気持ちでした。

教会長室で、両親とともに教会長さんと向き合いました。着席するや父が立ち上がり、「息子が迷惑をかけて申し訳ありません」と謝罪の言葉を口にして深々と頭を下げます。教会長さんは席に着くよう勧めたあと、私を見て「これからどうしたい？」と問うてきます。言葉の詰まった私に、実家に戻るよう勧めますが、私は頷くことができません。「厄介者」の自分を家族が受け入れるとは思えず、私自身も、針の筵に座るような思いをしなかったからです。

「実家には戻れません」。うつおいたまま心情を吐露すると、教会長さんから教会道場での宿直当番を提案されました。宿直当番とは当時行なわれていた修行の一つで、教会道場に泊まり、朝夕の読経供養や道場内の警備などを務めるものです。その言葉を聞いた母は涙ぐみ、「この子に宿直のお役が務まるか心配ですが、お預けいたします」と答えますが、父は黙ったまま。母を泣かせ、父に恥をかかせ、教会に迷惑をかけ

# Spiritual Journey

る自分——。「厄介者」の思いがより強くなりました。けれども、こんな自分を見放さず、居場所をつくってくださる教会長さんの気持ちに忘れていかねば、とも思いました。

私には、このお役にとりくむ前、どうしても区切りをつけたいことがありました。Aさんのもとから黙って出てきてしまった一件です。後日、教会長さんに相談すると、「お世話になったのは事実だから、そこは感謝すべきです。ご両親と感謝の気持ちを伝えに行ったらどうですか」とアドバイスされました。その年の十二月十四日、両親を伴いAさんを訪ねました。

私はAさんに職場から突然いなくなったことをお詫言し、「半年間お世話になり、ありがとうございました」と感謝を伝えました。すると、Aさんは、「ご両親と会えたのだね。よかった」と、私の肩に手を添えて笑顔を向けてくれます。私の身を案じてくれていたAさんの気持ちに考えが及ばない自己中心な自分を思い知りました。

そのとき、一緒に広島まで来てくれた両親に対しても同じだったことに気づいたのです。私は帰途の新幹線のなかで、勇気をふり絞って謝りました。すると父は私の顔をじっと見て、「過ぎたことを悩むより、これからを考えろ」と、ひと言。母はというと、手元のパンフレットに目を落として「今後は観光で来て、おいしい物でも食べたいね」と何事もなかったような表情を見せてくれました。過去を問い詰めず、これ以上、私を傷つけまいとする両親のやさしさ、心遣いを感じるとともに、「厄介者」と勝手に思っていたことを恥じ、申し訳なさでいっぱいになりました。

教会に戻ってからは、心新たに自分の生き方を見つめようとの思いで宿直に入りました。私は佼成会の信仰二代目ですが、学生部活動に参加して以来、教会か

ら遠のいていたので宿直は初めての経験です。ご宝前のお給仕や読経供養の作法など、わからないことばかりでしたが、自ら教えを請うと、サンガ(同信の仲間)のみなさんが懇切丁寧に教えてくださいます。親子ほど歳の離れた壮年部員さんから「一緒にがんばって修行しよう」と声をかけられたときは、帰ってきてよかったと実感しました。

宿直修行のなかで、学んだことがあります。ある朝、疲れていた様子の壮年部員さんを読経供養がはじまる六時ぎりぎりまで起こさなかったところ、その方から「私は修行のために宿直をさせていただいているのだから、気遣いはいらない」と言われたのです。

その言葉を聞いて、かつて勤めていた会社でチームリーダーをしていたころの自分の姿が脳裏に浮かびました。自分でするほうが早いと、手間のかかる仕事を後輩にさせなかったのですが、それは後輩が経験を積む場を奪っていたばかりか、自身の仕事を増やしてストレスを溜めこんでしまったのではないかと——。ここでも自己中心の自分を教えられたのです。

平成二十九年一月から、私は茨城県古河市内に



教会放送室で式典の配信準備をする菊地さん



# Spiritual Journey

アパートを借り、パン工場などでアルバイトをしながら宿直を続けていました。そんな折、宿直で一緒になった会沢孝一郎さん(74)から、「私の造園会社で働かないか」と誘われたのです。けれど、うつ病を患っている私に、体力のいる造園の仕事が務まるのか不安でした。教会長さんに相談すると、「将来を心配して動かないことを才覚、過去にとらわれて動かないことを執着といいます。佼成会では、いまを大事にしていくことを教えているのですよ」と諭されました。その言葉を聞いて、自ら変わりたいと誓ったことを思い返し、未知の世界に飛びこむことにしたのです。

毎朝六時半、宿直を終えると、その足で隣町の会沢さんの会社まで軽トラックで向かい、夕方まで現場を回りました。公園の雑草刈りや街路樹の枝落としなどがあり、一日の仕事を終えると、へとへとです。でも、夏の炎天下で作業しているときなどに、近所の方から「いつもきれいにしてくださって、ありがとう」とねぎらいの言葉をかけてもらうと、疲れも吹き飛びました。また、それだけ体を使うと薬に頼らなくてもぐっすり眠れ、食事もおいしくいただけるようになりました。

時期を同じくして、私は教会で映像作品の編集作業を任せていただきました。式典や行事、サンガの話題を収めた映像は、サンガから好評で、私もやりがいを感じました。

造園の仕事、教会のお役をとおして、人さまの役に立てていることを自覚できると、「自分なんて……」という卑屈な心がしたいに消えていきました。そして、志半ばで挫折したシステムエンジニアの道を再び歩みたいとの意欲が芽生えてきたのです。そこで私は昨年八月から、フリーのエンジニアとして一步を踏み出し、週末だけ造園の仕事を手伝うという生活に切り替えました。

また、コロナ禍にある昨年末からは、教会が設置した「古河教会デジタル化作戦本部」の担当者となり、教会行事を会員さん方が見られるよう配信などを行なっています。

私はこのお役も仕事も「菩薩行の場」であり、「ご恩返し」の場と位置づけています。それは、両親やサンガをはじめ、ご縁をいただいた方々のおかげで、私でも人さまのお役に立てることを知ったからです。その喜びを胸に、お役と仕事に精いっぱいとりこんでいきたいと思っています。



教会道場にてサンガの仲間と  
(右端は大矢貴士古河教会長)

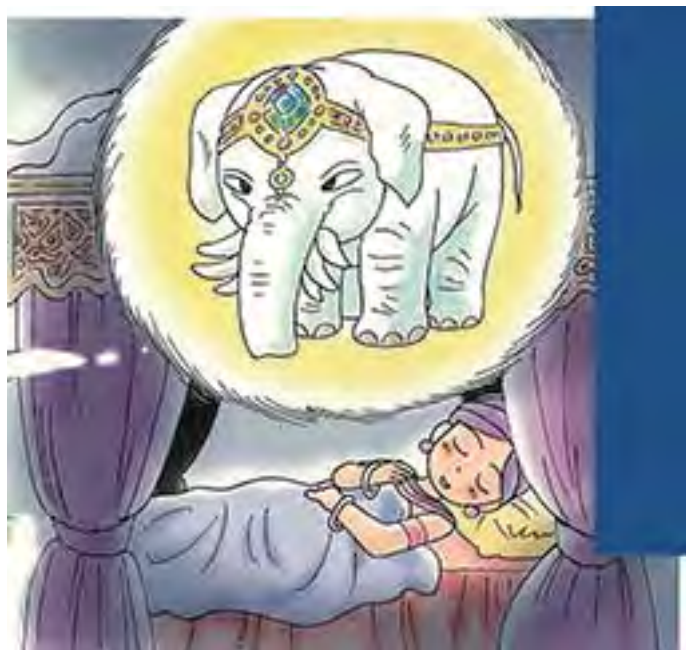
# まんが 立正佼成会入門

## お釈迦さまの生涯と仏教の教え

### 王子として誕生

お釈迦さまはいまからおよそ2500年前、釈迦族の王子としてインドのルンビニー（現在はネパール領）で誕生しました。

お母さんのマヤー夫人は、天からおりてきた六本の牙をもった白象がお腹に入った夢を見て、お釈迦さまが宿ったことを知ったといひます。しかし、マヤー夫人が産後7日目に亡くなったため、お釈迦さまはお母さんの妹に育てられました。伝説では、誕生されたお釈迦さまは、四方へ向かって7歩ずつ歩み、「天上天下唯我独尊」と言ったとされています。



#### 豆知識

釈迦とは、「釈迦族出身の聖者」を意味する「釈迦牟尼」の略称。尊称して「釈尊」とも言われる。仏教を開いたお釈迦さまは、紀元前463年（同566年、同624年とも）に生まれ、80歳で入滅したとされる。





『まんが立正佼成会入門』は、佼成ショップにて好評発売中です。  
<https://www.koseishop.com/>

## 出家を決意



お釈迦さまは王子のころ、遊びに行こうとして城の「東門」を出ると老人に出会いました。別の日、「南門」を出ると病人に、「西門」をぬけたらお葬式に出会いました。そして「北門」をくぐった時、出家した修行者に会い、そのすがすがしいすがたに心を打たれて、出家を決意しました。人はいずれ老い、病気になり、やがて死がやってくる。その苦しきからぬけだすにはどうしたらいいのか——。お釈迦さまが出家して正しい道を求めるきっかけとなった「四門出遊」という話です。

### 豆知識

お釈迦さまは出家のため、従者チャンダカの引く愛馬カンタカに乗って城を出た。翌朝、朝日ののぼる国境で別れをつけるが、愛馬カンタカは、悲しみのために城にもどると死んでしまったと伝えられている。

# Director's Column

## 最高の忍辱とは

国際伝道部長

赤川 恵一

時の流れが速く感じられる今日この頃、新年のスタートを切ったかと思えば、もう今年も折り返しの時期を迎えました。

今月も会長先生のご法話から「忍辱」の学びを深める機会を頂戴しました。なかでも「最高の忍辱」についてのお話を、私は特に印象深く受け止めました。開祖さまがお示しくださった「教えを聞いて自他一体感が深まり慈悲の心が起こってくる」という境地は、佼成会の修行を続けてきた人であれば、既に体験されている方も少なからずいらっしゃると思います。ここでいう「自他一体感」の境地こそ、私たちが目指すべき「受け入れて認める」心のあり方なのだと思います。

逆な見方をすれば、私たちは普段から触れるものを「自分と他人」「善と悪」などと分別し、表層だけを見て価値判断してしまっているのかも知れません。偏った見方に執着してしまう私たち凡夫の心を、徐々に「上求菩提」「下化衆生」という菩薩道に目覚めさせてくれる——今月のご法話をとおり、そうした覚りへのヒントが仏道修行には予め用意されているのだと気づかせていただきました。

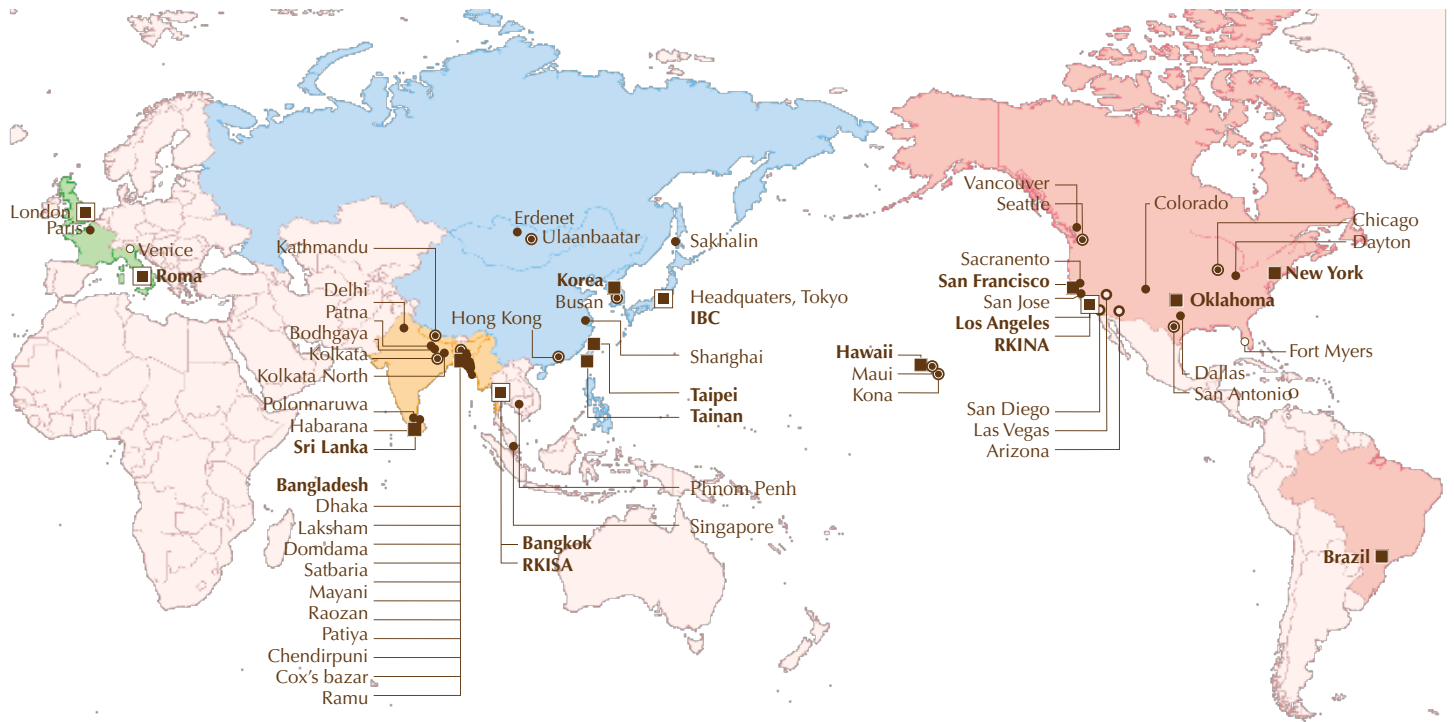


✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。  
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)



# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA  
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633  
 Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

## Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA  
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

## Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA  
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

(Address) 1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA  
 (Mail) POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA  
 TEL: 1-650-359-6951 Email: [lotusbuddhist@gmail.com](mailto:lotusbuddhist@gmail.com)  
 URL: <https://sf-buddhism.org/>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

- Rissho Kosei-kai of Sacramento
- Rissho Kosei-kai of San Jose

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA  
 TEL: 1-212-867-5677 Email: [rkny39@gmail.com](mailto:rkny39@gmail.com) URL: <http://rk-ny.org>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA  
 TEL: 1-773-842-5654  
 Email: [murakami4838@aol.com](mailto:murakami4838@aol.com) URL: <http://rkchi.org>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

(Address) 2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA  
 (Mail) POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA  
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303  
 Email: [rkokdc@gmail.com](mailto:rkokdc@gmail.com) URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA  
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

## The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: [info@rkina.org](mailto:info@rkina.org)  
 URL: <https://www.buddhistcenter-rkina.org>

## Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

## Rissho Kosei-kai International

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA  
 (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA  
 TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745  
 Email: [dharmasanantonio@gmail.com](mailto:dharmasanantonio@gmail.com)  
 URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA  
 TEL: 1-253-945-0024 Email: [rkseattlewashington@gmail.com](mailto:rkseattlewashington@gmail.com)  
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil  
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377  
 Email: [risho@rkk.org.br](mailto:risho@rkk.org.br) URL: <http://www.rkk.org.br>

**在家佛教韓國立正佼成會 Korean Rissho Kosei-kai**  
〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

**在家佛教韓國立正佼成會釜山支部  
Korean Rissho Kosei-kai of Busan**  
〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F  
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

**社團法人 在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Taipei**  
台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓  
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan  
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

**台南市在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Tainan**  
台灣台南市東區崇明 23 街 45 號  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan  
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488  
Email: koseikaitainan@gmail.com

#### **Rissho Kosei-kai South Asia Division**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**  
Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

**Rissho Kosei-kai Society of Kolkata**  
89 Srirampur Road (VIP), Garia, Kolkata 700084, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**  
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**  
Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rampur, Gaya-823001,  
Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**  
Please contact Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**  
77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Rissho Kosei-kai of Singapore**  
Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**  
W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,  
Phnom Penh, Cambodia

**RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia**  
Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Bangkok**  
Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei Dhamma Foundation**  
No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**  
Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

**Rissho Kosei-kai Bangladesh**  
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
TEL: 880-2-41360470

**Rissho Kosei-kai Mayani**  
Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Damdama**  
Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Satbaria**  
Village: Satbaria Bepari Para, Chandanail, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Chendhirpuni**  
Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Raozan**  
Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Laksham**  
Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Dhaka North**  
408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Cox's Bazar**  
Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Patiya**  
**Rissho Kosei-kai Ramu**  
**Rissho Kosei-kai Aburkhill**

**Buddiyskiy khram "Lotos"**  
4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia  
TEL: 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**  
Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**  
Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**  
(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoroov-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia  
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia  
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Erdenet**  
Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai di Roma**  
Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia  
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

**Rissho Kosei-kai of Paris**  
**Rissho Kosei-kai of Venezia**

**Rissho Kosei-kai of the UK**  
29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK  
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: <https://www.rkuk.org>  
Facebook: <https://www.facebook.com/rkuk.official>  
Twitter: [https://twitter.com/rkuk\\_official](https://twitter.com/rkuk_official)  
Instagram: [https://www.instagram.com/rkuk\\_official](https://www.instagram.com/rkuk_official)

**Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)**  
166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F  
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan  
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibt-rk.org>